

名前:

科学の発達によ、て私達は様々な形で情報
と接することができるようにな、た。新聞や
テレビ、インターネット等によ、てあふれる
情報の海でただよ、てい、ると言、ても過言で
はないだろう。過去にくらべて、より簡単に
、より自由に情報を手に入、ていく現代で、
活字XデAはその立場をだ、んだん失、てい
る。新聞や雑誌にしかできなかつた機能をイ
ンターネットがほとんどこなしてい、るからで
ある。ある人は活字XデAがなくなるので
は~~な~~、~~私~~のな、いかと言、う。
しかし、私は活字XデAがなくなるとは思
わな、い。過去に、テレビが登場したからと
い、て新聞がなくな、た前例もな、いし、明ら
かに異なる性格の伝達手段だと考えてい、るか
らで、。また、テレビやインターネットの場合
機械を必要とするが、活字XデAは何もな
くとも見、ることができ、るという利点もある。
最近、若者の間では「アナログ同好会」な
どがは、や、てい、る。現代文明によ、てう、れ

ていくアナログ的文化や生活を体験しようとい
うものだが、こういった一連の動きでもわ
かるように、今はもうアナログになりつつあ
る活字XデAもその利点やみ、りよくが充分
あると考えてい、る。
~~人間が字を書、て残、すことば、は、は、る、代~~
~~わ、る、の、こ、と、で、あ、る、が、~~
時代がどんなに変わ、ても、ワープロで打
つた~~手紙~~手紙より、手書きの方が感動をあ
たえるように、便利さや簡単さが人間のあ、バ
てを満、たあとは思えな、い。サ、ッと見て流、して
しま、うようなインターネットニュースよりも
活字で見、るインパクトもい、いと思う。流行は
回、て回、るとい、うが、いつかは新聞や雑誌が
昔のよ、うに復活するのではな、いかと考、えてい
る。
利子